

桶川市新庁舎建設基本設計（案）に関する意見等の募集結果

※市の考え方につきましては、意見提出者毎にまとめているため、一部重複する内容がございますことをあらかじめご了承ください。

番号	項目等 (ページ)	意見等の概要（原文のまま掲載しております）	市の考え方
1		<p>1. 一般市民の自転車での来庁動線～この様な動線で年寄りが自転車を止められますか。駄目です。</p> <p>2. 一般市民の来庁動線～狭い空間に無理矢理納めている。</p> <p>3. 入口の向きが悪い～ゆとりを持ってストレートに入れるように</p> <p>4. 2～5階共来庁者の動線が長い～脚の悪い人、車椅子の人、等色々な人が来庁するのに、プライバシーの保護等落ち着いた空間で来聴者を迎える環境ではない。</p>	<p>来庁者のうち歩行者は正面に、自転車を利用される方は駐輪場側に入出口を設けております。また、駐輪場への動線につきましては、2 m程度であった通路の幅員を3 m程度に広げ、安全性の向上に努めます。</p> <p>来庁者の動線は車椅子でも移動しやすい広さを確保した計画としております。</p> <p>また、1階の空間は、免震装置の位置を工夫し、柱の寸法を2 m四方程度から1 m四方程度とすることにより、圧迫感の低減を図ります。</p> <p>歩行者、自転車、自動車それぞれの動線からのアプローチを考慮した位置に入出口を設ける計画としております。</p> <p>また、いずれの入出口からも、総合案内、エレベーター、エスカレーターに円滑に移動できるようなサイン計画を検討してまいります。</p> <p>エレベーターからの動線は長くなりますが、窓口を見渡すことができる明快で迷いにくい計画としております。</p> <p>プライバシーの保護につきましては、相談室の設置、窓口カウンターへの衝立の設置等により配慮してまいります。</p>

		<p>結果として</p> <p>ア. 1階の機械室はBF又は、半地下として、1階のエントランススペースを余裕のある空間とするべきではないか。</p> <p>イ. 2階から上は、中央にメイン階段をセットし、2方向避難を確保すべきです。</p> <p>私は、日本設計とは数回仕事上お付き合いしましたが、到底日本設計の自信作とは思われません。その場しのぎのプランに見えますよ。桶川市準備室の皆さん、保健センターでの説明会、オドオドした対応、建築主として設計者を説得する対等な立場で建設に当たって下さい。先が思いやられます。</p>	<p>機械室を地下に設けることは建設費の増加にもつながるため1階に配置しております。</p> <p>なお、1階の空間は、免震装置の位置を工夫し、柱の寸法を2m四方程度から1m四方程度とすることにより、圧迫感の低減を図ります。</p> <p>メイン階段は、やや中央寄りに移動して配置するとともに、2方向避難を確保する計画としております。</p> <p>パブリックコメントをはじめ市議会や職員の声を反映し、より良い新庁舎づくりに努めてまいります。</p>
2		<p>一般的に鉄骨造は鉄筋コンクリート造に比べ、変形が大きく遮音性・振動が懸念されますが、基本計画において鉄骨造とした理由について教えて頂けますでしょうか。固定観念かも知れませんが、役所（官庁施設）は鉄筋コンクリート造というイメージがあるので、他で鉄骨造を採用している例がありましたら併せて教えてください。</p> <p>仮に大スパンを実現する為のものだとすれば、それに伴い変形を抑制するべく免震構造とし、それが建設コストの高騰のみならず予算の9億オーバーの一部となっている可能性はありませんか。</p> <p>また、地震発生直後から災害活動とありますが、柱頭免震装置の安全性が確認出来ない限り上階及びピロティの使用は危険かと思えます。メンテするメーカー？が判断するのか分かりませんが、201</p>	<p>鉄筋コンクリート造は鉄骨造よりも剛性が高く変形を抑制することができますが、柱のない可変性の高い執務室に対応しやすく、工期的にも有利な鉄骨造を採用いたしました。</p> <p>なお、近年竣工した庁舎では、北本市、甲府市、町田市、長浜市等で鉄骨造が採用されております。</p> <p>免震構造の採用、不採用にかかわらず、鉄筋コンクリート造でも鉄骨造でも建設コストに大きな差はありません。</p> <p>地震の規模等により異なりますが、震度6強クラス以上の地震においても、無被害あるいは軽微な損傷に止まり、人命の安全確保に加えて、</p>

		1. 3. 1 1 東日本級の地震発生時に迅速な対応が出来るとは思えません。	構造体の補修をすることなく使用可能な防災拠点施設として十分な強度・耐震安全性を確保する計画としております。
3		<p>1. 先行き高齢者が増える中で1階に受付、用事は2階に登るのはよくない。前の提案では1階であった。</p> <p>2. 3階（旧庁舎）から4階に、更に5階に変わって南側の住宅は、近隣住民に配慮した庁舎とは言えない。</p> <p>3. 各スペースの面積はどうなっているのか。市民、市長、議会関係（議場を除いて）</p> <p>4. 広報新年号で富士山（庁舎からの写真）が写っていたが、新庁舎では、市民は眺望できないのか。議会関係のスペースを割いて造</p>	<p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。</p> <p>南側及び西側の住宅地との隣地境界からの距離は5m程度確保するとともに、直天井の採用により建物全体の高さにも配慮しております。</p> <p>各スペースの面積は、次のとおりです。</p> <p>市民（市民ギャラリー・カフェスペース・情報コーナー・市民活動室）270㎡程度</p> <p>市長室 40㎡程度</p> <p>議会関係（議場除く）360㎡程度</p> <p>詳細につきましては、基本設計図書に記載しております。</p> <p>なお、実施設計において詳細を検討する中で若干の変更が生じる可能性があります。</p> <p>5階に眺望スペースを設置させていただきました。</p>

	<p>ってもらいたい。(委員会室は議場でできないのか)</p> <p>5. コスト削減で工事中の庇を使って、工事中の足場中止と書いてあるが、どうやって工事をするのか教えてもらいたい。(建築をやっていたが、安全が考えられていない)</p> <p>6. また、庇バルコニーで清掃がしやすいとあるが、どうやって清掃するのか。職員は、危なくてできず、清掃業者に委託するのではないか。</p> <p>7. 41億円かかっても、前の提案に戻すべきと思う。</p>	<p>工事を施工する際に、庇を各階の足場として利用し、仮設の足場を部分的に省略することを想定しております。</p> <p>足場やゴンドラを使わず、各階に設置される手すりのついた庇バルコニーから直接清掃を行うことができますが、安全帯が必要となるため、業者への委託を想定しております。</p> <p>敷地特性を踏まえた建築計画、防災拠点施設としての役割、建設費の削減等、様々な観点から検討を行い、基本設計といたしました。</p>
4	<p>市民の税金を有効に活用してほしい。外見や職員の使い易さも大事ですがムダを省いた利用しやすい庁舎を、最小限のコストでお願いしたい。</p>	<p>安全性や使いやすさに加え、コスト面にも十分配慮して事業を進めてまいります。</p>
5	<p>1. 変更後の基本設計(案)の1Fを駐車場にする案については、利便性からも反対です。</p> <p>2. 駐車場の確保については、市道3号線と線路間の敷地活用が市民にきちんと伝わっていません。当該地の活用を含めた駐車場の確保を示していただきたい。</p>	<p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。</p> <p>敷地東側の道路(市道1-3号線)と線路間の駐車場につきましては、新庁舎建設後も駐車場として使用できるよう所有者の方と協議を行っ</p>

		<p>3. この間の設計予算の変更について、広報に示された理由では納得がいかず、いくらが適正な価格なのか市民は理解できない。改めて、業者選定をはじめからやり直した方がよいと思う。</p> <p>4. 2F、3F、4Fの執務室の市民のスペース（あわい黄色部分）が狭く感じる。</p>	<p>ております。</p> <p>市民説明会説明資料（市ホームページにも掲載）のとおり、平成27年2月時点における地下1階地上4階建て、パブリックコメント時の地下なし地上5階建ての概算工事費をそれぞれ41億円、36.5億円と算定しております。</p> <p>2～4階のあわい黄色部分は主に通路のスペースですが、車椅子でも移動しやすい広さを確保した計画としております。</p>
6		<p>市民が親しめる市役所を造ることがある。それには3つのことをお願いしたい。</p> <p>1. 市役所は桶川をイメージする建物にしてもらいたい。それには、かつて桶川は中山道の宿場町であり、また紅花の産地であり、来庁者は桶川に来た境地である。</p> <p>2. 市役所には食堂がない。市民は食事することで気が安らかになる。是非お願いしたい。</p> <p>3. 市役所前は道路が狭い。来庁者はゆっくり安心して来ることが大事である。それには道路を広げてもらいたい。そのこと安全を確保することである。</p>	<p>「宿場町らしさ」が感じられる開放ゾーン、「べに花」をイメージしたカラーデザイン等を取り入れてまいります。</p> <p>引き続き、より桶川らしさが感じられるよう工夫を行ってまいります。</p> <p>庁舎の規模、採算性等から食堂の設置は難しいと考えております。</p> <p>なお、市民の交流の場となるカフェスペースを設ける計画としております。</p> <p>敷地東側の道路（市道1-3号線）の歩道スペースとの一体化については、実施設計において検討してまいります。</p>
7		<p>健康で元気で暮すには、運動やコミュニケーションが出来る場所が新庁舎の中にある事を望みます。集まる場所がなくて日頃苦勞します。</p>	<p>市民が気軽に利用できる場所として、2階に閉庁時にも利用できる市民活動室を設ける計画としております。</p>
8		<p>①桶川市もこれから人口減少が予想される、大きな建物はいらぬ。</p>	<p>庁舎の面積は、総務省・国土交通省等の庁舎面</p>

	<p>使いやすく、コンパクトにしてほしい。</p> <p>②なぜ、計画が変更になったのか。地下がなくなって、単に上あげたように思う。本当に5階建てが必要なのでしょうか。最初から建設費用は決まっていたのではないですか。</p> <p>③防災対策として、職員の食堂などは、災害時炊き出しができるようにしてほしい。</p> <p>④年に1回、市役所に行く位の市民が大勢いる。大多数の市民は豪華な庁舎でなく、無駄のない施設でいいと思っている。</p> <p>⑤もし、このまま5階建てにするのなら、コミュニティーセンターをかねた、市民が自由に使えるような多目的な部屋を造ってほしい。(50人くらい集まって、オケちゃん体操や、認知症予防の研修や</p>	<p>積の算定基準を参考に、旧庁舎・仮設庁舎の状況も踏まえて設定しております。</p> <p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。</p> <p>建設費につきましては、平成25年11月に策定した基本計画における概算工事費は32億円でしたが、今回の基本設計による概算工事費は免震構造の採用等もあり、平成27年6月時点で約36.8億円と算定しております。</p> <p>庁舎の規模、採算性等から厨房設備のある職員食堂の設置は難しいと考えております。</p> <p>災害時の炊出し等が必要な場合は、駐車場スペースやカフェスペース、市民ギャラリー等の活用を考えております。</p> <p>安全性や使いやすさに加え、コスト面にも十分配慮して事業を進めてまいります。</p> <p>市民が気軽に利用できる多目的な部屋として、閉庁時にも利用できる市民活動室(70㎡程度)を設ける計画としております。</p>
--	--	--

		<p>講座が開けるような軽い運動ができるような部屋)</p> <p>⑥執務室・市長室・などは適切な広さですか。仮庁舎は3階で全職員が移って仕事をしています。執務室は今の何倍になるのですか。</p> <p>⑦建築費用は、今後、消費税など考えると、さらに高騰してくると思う。さらに借金が増えるのではないのでしょうか。</p> <p>⑧エスカレーターがあるが、エレベーターで十分と思う。もし来庁者がさばけないようなら3基にしたらいいと思う。1日、どのくらいの市民が市役所を訪れているのか。元気な人は歩いて上げる。</p> <p>⑨5階の議員控室・議場は、一番景色のよいところが普段使えないで独占している。おかしいと思う。市民に開放できる、お茶など飲めたりする場所をつくってほしい。</p> <p>⑩まず防災の役割を第1に考えてほしい。</p> <p>⑪市民の憩いの場所については、建築費を考えるとあまりいらぬ。</p> <p>⑫最低限の機能でいいと思う。</p> <p>⑬借金をこれ以上増やしてほしくない。まだやらなくてはならない</p>	<p>各スペースの面積は、総務省・国土交通省等の庁舎面積の算定基準を参考に、旧庁舎・仮設庁舎の状況も踏まえて設定しております。</p> <p>なお、執務室の広さにつきましては、執務体制の違い等により単純な比較はできませんが、仮設庁舎と分庁舎を合わせて1800㎡程度、新庁舎は2300㎡程度となっております。</p> <p>建設費に大きな変動がないよう、速やかに実施設計に着手し、工事発注を行うこととしております。</p> <p>来庁者の多い総合窓口が2階となることから、エレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>5階に眺望スペースを設置させていただきました。</p> <p>地震発生直後も継続して建物を使用することができ、速やかに災害活動と市役所業務を行える防災拠点施設として、十分な強度・耐震安全性を確保する計画としております。</p> <p>市民が交流できる空間が不足していることから、市民活動室等を設置することとしております。</p> <p>安全性や使いやすさに加え、コスト面にも十分配慮して事業を進めてまいります。</p> <p>地方債を可能な限り抑えられるように、コスト</p>
--	--	--	---

	<p>事業（駅東口の計画や福祉に回してほしい。）が沢山ある。</p> <p>⑭車で中山道を走ると上尾から北本に行くとはよくわかる。桶川の道路が一番狭くて、危険。（歩行者や自転車）</p> <p>⑮高齢者は、この先不安がいっぱい。足腰もよわくなり市役所窓口が2階なのは不便。</p> <p>⑯狭い敷地の中に目いっぱい建物で、本当にこの大きさが必要なのか。他の案も見たい。</p> <p>今回のパブリック・コメントについて知らない市民が大勢いる。広報だけでは、市民の意見を吸い上げるのは無理。</p> <p>どんな新市庁舎になるのか皆さん楽しみにしている、今回の設計変更についてなぜ？と疑問を持っている。計画に無理があったのなら、もう1度1から見直してほしい。</p> <p>上日出谷の区画整理も公園がなくなり、失望している。</p> <p>北本に抜ける道も満足にない。どうして隣の街と比べるとこんなに違うのか。</p>	<p>管理の徹底に努めるとともに、引き続き、活用可能な補助金の導入について比較・検討を行ってまいります。</p> <p>ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。</p> <p>また、敷地を有効に利用しないと6階建てとなる場合もあることから、敷地の大半に建物を配置することで建物全体の高さを抑える計画としております。</p> <p>今後も情報発信の強化に努めてまいります。</p> <p>安全性や使いやすさに加え、コスト面にも十分配慮して事業を進めてまいります。</p> <p>ご意見として参考にさせていただきます。</p>
--	--	--

9	<p>1. 公募型プロポーザル方式の実施要領で概算工事費 約 34 億円(外構工事費、付帯施設工事費、現庁舎解体工事費含む) が提示されながら、市民に初めて基本設計(案)説明会で当初設計 41 億円では市民として納得できない。市民に公開された提案は 34 億円で、できるものとするのが普通である。同じ実施要領で参加した次点者を含めて 6 者が、かわいそうである。6 者に提案時の概算工事費を確認したのか。6 者もお金をかければよい提案ができるに決まっている。</p> <p>2. プロポーザルは、同じお金を使うなら、どの提案選ぶかを決めるものではないのか。(ワークショップ) 他 6 者よりも評価は落ちると考える。審査委員の意見を聞きたい。今回の(案)は、1 階が駐車場になったことで「おけがわ旅籠ふれあい庁舎」の提案には、ほど遠いものになった。</p> <p>3. 桶川市発行資料 6/28 ページの考え方は、非常に問題である。49 億円>36.5 億円で、いかにも金があるイメージを植えつける。36.5 億円-26 億円=10.5 億円を地方債で補てんするのではないのか。一般市民は、地方債という言葉をよく使わない。借金を 10.5 億円することではないのか。</p> <p>4. 事業計画では、補助金の検討もすることになっているが、検討結果はどうなったのか。また、一般財源はなぜ使用できないのか。</p> <p>5. 事業計画の 34 億円(新庁舎 32+解体 2) は厳守すべきである。</p> <p>6. 容積率 200%を最大に使っての延べ面積 8,300 m²であるが、無駄なスペースはないのか、常時使わない室は兼用する等の工夫はないのか。</p>	<p>プロポーザルに参加した設計者に対しては、「概算工事費は建設費高騰・消費税増税前の試算であり、基本設計においては、それらを考慮して改めて概算工事費を積算する。」と回答しております。</p> <p>したがって、いずれの設計者も同じ認識の下での提案となっております。</p> <p>プロポーザル方式は、設計案を選ぶ「コンペ方式」ではなく、設計者から業務の実施方針や課題に対する考え方の提案を求め、想像性・技術力・経験等から「設計者」を選ぶ方式です。</p> <p>49 億円という額は、工事費が 36.5 億円の場合の地方債(借入金)として 23 億円まで認められ、庁舎建設基金 26 億円と合わせると、毎年の予算に大きな影響を与えることがない旨を説明したものです。</p> <p>活用可能な補助金の導入について比較・検討を行っております。</p> <p>建設費につきましては、平成 25 年 11 月に策定した基本計画における概算工事費は 32 億円でしたが、今回の基本設計による概算工事費は免震構造の採用等もあり、平成 27 年 6 月時点で約 36.8 億円と算定しております。</p> <p>庁舎の面積は、総務省・国土交通省等の庁舎面積の算定基準を参考に、旧庁舎・仮設庁舎の状況も踏まえて設定しました。</p>
---	---	---

		<p>7. 基本設計業務委託は、天候等に左右されないデスクワークを主体とする作業でありながら、履行期限を3ヶ月も遅れる理由とその責任はどうなるのか。ペナルティーはないのか。</p> <p>8. 当初の計画では、実施設計をH27.04からH28.03までの履行期間であるが、今後はどのようなスケジュールになるのか？基本設計を延長して、実施設計を短縮するのか。</p> <p>9. 期限内に基本設計ができないのに実施設計を随契するのか。</p> <p>10. 基本設計を実施するうえで、市民に設計の進捗状況を桶川市発行・設計監修の「かわら版」として毎月一回を目安に公開することであったが、3回12月で終わったのか。不信感が募るばかりである。</p> <p>11. 特に、工事説明会の延期については「建設費等を含めて根本的な見直し」で済ませず、詳細を「かわら版」で市民に知らせるべきではなかったのか。</p> <p>12. ワークショップはプロポーザルの提案で実施されているが、大きく変わった基本設計（案）では意味がない。再度、実施するのか。ワークショップに参加された方の意見を聞きたい。</p>	<p>また、ご意見の「兼用する等の工夫」につきましては、常時使わない職員食事室を会議室としても使用する等の配慮をしております。</p> <p>建設費を中心に設計内容の見直しを行うため、双方協議のうえ履行期間を延長しております。ペナルティ等はありません。</p> <p>速やかに実施設計に着手し、当初の計画どおり平成30年5月の開庁に向けて、平成28年度に着工できるように努めてまいります。</p> <p>基本設計業務の受注者と実施設計業務の契約を予定しております。</p> <p>第4号を5月に、第5号を6月に発行させていただきました。</p> <p>第3号の発行以来、期間が空きましたことは、お詫び申し上げます。</p> <p>敷地特性を踏まえた建築計画、防災拠点施設としての役割、建設費の削減等、様々な観点から検討を行いました。</p> <p>なお、見直し内容の概要につきましては、市民説明会において説明させていただき、市ホームページにも掲載いたしました。</p> <p>ワークショップ参加者には、市民説明会とは別に、見直し内容等について説明させていただいたうえでご意見を伺う機会を設けさせていただきました。</p> <p>その際に、見直しを行い建設費の削減を図ったことにご理解をいただいたうえで、「市民が利用</p>
--	--	---	---

		<p>13. 3回目のワークショップを傍聴したが、進行役が「無駄も大事」との発言があったが、基本設計（案）でも無駄があるのか。</p> <p>14. 市民代表（誰が選んだのかわからないが）の3回のワークショップは基本設計（案）のどこに生かされているのか。</p> <p>15. 閉庁時も含め、市民がイベントなどで利用可能な公共空間の確保を基本計画であげているが、基本設計（案）では具体的にどこにあたるのか？</p> <p>16. 「防災・災害復旧拠点として、災害発生時に安全で、災害直後も継続して使える」とのことであるが、1階柱頭免震になることで1階が災害救助活動のメインとなることは大丈夫なのか。</p> <p>17. 第1回の説明会で地方債の返済計画については市民に負担を掛けない形で返済との説明があったが、具体的にはどうするのか。</p>	<p>できるスペースを引き続き確保したことは評価したい。」「旅籠のイメージは残してほしい。」等のご意見をいただきました。</p> <p>進行役の発言は、「訪れる場、働く場としてゆとりある空間も重要」という意図であると認識しております。</p> <p>基本設計においては、ワークショップでのご意見を踏まえ、市民が利用できるスペース（開放ゾーン、フレキシブルな会議室、眺望スペース等）の確保、桶川の歴史や地域の材料の活用、防災拠点としての機能の確保等を行っております。</p> <p>市民活動室や駐車場等を市民がイベント等に活用できる計画としております。</p> <p>現行の法規における標準の構造体は、大地震時に部分的な損傷は生じるものの倒壊等の大きな損傷は発生せず、人命の安全確保が図られるものとなっておりますが、新庁舎につきましては、人命の安全確保に加えて、防災拠点施設としての機能確保を図るものとしており、十分な耐震安全性が確保されることとなります。</p> <p>したがって、1階部分において災害復旧時には物資保管等、有効に活用できるものとなっております。</p> <p>具体的な返済計画につきましては、建設費を含めた新庁舎建設事業の総事業費と庁舎建設基金</p>
--	--	--	---

		<p>18. 「地下1階を中止したことによる躯体工事（土工事）の削減」で-約1.1億で、地下1階全体でいくらなのか。「地下駐車場に掛かる費用は設備費等も含めて約1千万/台。地上駐車場であっても約0.6千万/台と掛かる」差400万円で当初70台で2.8億で地下だできれば、戻すべきである。</p> <p>19. エスカレーター設置で+約0.8億であったら、ELVを1基追加したらどうか。</p> <p>20. 新国立競技場を参考に施工予定者技術提案方式を昨年9月に提案したが説明会での回答がデザインビルド方式は検討したが採用しないとの回答。方式が全然違う。もっと真剣に捉えてもらいたい。入札したらコストが折り合わず不調になることを懸念する。</p> <p>21. 以下パブリックコメント資料より ※ この基本設計（案）平面計画の区画線は8か月かけて、市の関係スタッフと設計者で部屋割りを固めてものと考えているが不明確である。具体的な室名を記載しないとわからない。まだ、未定では不要ではないか。</p> <p>① 色分けの凡例 ② 2.4.5Fで執務室、執務室関連諸室（何をする執務？） ③ 室名のない区画線 ④ PS, DS, EPS等の記載</p>	<p>を踏まえ、地方債の額について検討・調整を行う中で決定してまいります。</p> <p>仮設庁舎移転以降、来庁者の駐車台数の調査を行っております。</p> <p>その結果も踏まえ、限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場を取り止め、平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>エスカレーターはエレベーターと比較して、待たずに多くの人を運ぶことができるため、必要であると考えております。</p> <p>新国立競技場と異なり、特殊な工法等の検討を必要としない一般的な庁舎建築であることから、設計施工分離の従来型の工事発注方式による施工業者の選定を考えております。</p> <p>具体的な部屋割り等の詳細につきましては、基本設計図書に記載しております。</p> <p>なお、実施設計において詳細を検討する中で若干の変更が生じる可能性があります。</p>
--	--	--	--

		<p>22. 「周辺住宅に配慮したボリューム構成」は、提案より負担をかけていないか。</p> <p>23. 災害復旧の拠点となる1階が免震構造になっていないことで、本当に首都直下型地震でも大丈夫か。</p> <p>24. 説明会で甲府市庁舎をモデルとしてあげているが、1階ホールで証明書等の受領ができるサービスとなっている。桶川市も同様にできるのか。甲府市のポイントはここである。</p> <p>25. 富士山が眺望できる市庁舎ではなかったのか。(議会場から眺望?) 屋上に草花の愛好者で管理してもらい市民が愛着を市庁舎に持つ遊歩道が取れるスペースはないか。</p> <p>26. 市民、議会、職員の各床面積と比率はどのようになっているのか。</p> <p>27. 事務室のスペースが広すぎる。</p>	<p>南側及び西側の住宅地との隣地境界からの距離は5m程度確保するとともに、直天井の採用により建物全体の高さにも配慮しております。</p> <p>現行の法規における標準の構造体は、大地震時に部分的な損傷は生じるものの倒壊等の大きな損傷は発生せず、人命の安全確保が図られるものとなっておりますが、新庁舎につきましては、人命の安全確保に加えて、防災拠点施設としての機能確保を図るものとしており、十分な耐震安全性が確保されることとなります。</p> <p>甲府市庁舎につきましては、証明書発行の呼出し番号の表示は1階の市民スペースの一角にも設置しておりましたが、受領につきましては2階のみで行われていると認識しております。</p> <p>5階に眺望スペースを設置させていただきました。</p> <p>各スペースの面積は、次のとおりです。</p> <p>市民(市民ギャラリー・カフェスペース・情報コーナー・市民活動室) 270㎡程度</p> <p>議会 550㎡程度</p> <p>職員(執務室) 2300㎡程度</p> <p>詳細につきましては、基本設計図書に記載しております。</p> <p>なお、実施設計において詳細を検討する中で若干の変更が生じる可能性があります。</p>
--	--	---	--

		<p>① 市職員数は、366 人であるが、事務室内に定位置を持つ職員数は何名なのか。</p> <p>② 2.3.4F の机の数は 430 弱あるが（秘書室、5F を除いて）職員の増員を見込んでいるのか。</p> <p>③ 西側の打合せテーブルが多すぎる。</p> <p>④ 2.4.5F で執務室、執務室関連諸室は、具体的な室名はないのか。</p> <p>28. 市長、副市長、秘書室のスペースが広すぎる。</p> <p>① 市長、副市長、応接室の床面積はいくらか。隣接する北本市は職員と大部屋で執務をとる報道もなされているが。</p> <p>② 秘書室の床面積はいくらか。何人で執務するのか。</p>	<p>職員数 366 人につきましては、平成 25 年 5 月時点における新庁舎に配置予定の臨時職員を含めた職員数です。</p> <p>なお、臨時職員を含むため若干の増減はございますが、現時点でも同程度の職員数となっております。</p> <p>新庁舎においては、机は固定とし人が動くユニバーサルオフィスの考え方を基本としております。</p> <p>机の数につきましては、課の並び等による余裕をみているもので、職員の増員を見込んだものではございません。</p> <p>また、西側の打合せテーブル及びキャビネットにつきましては、業務のサポートスペースにおける配置の例でございます。</p> <p>机等の配置につきましては、実施設計において、より合理的で機能的な配置を検討してまいります。</p> <p>具体的な部屋割り等の詳細につきましては、基本設計図書に記載しております。</p> <p>なお、実施設計において詳細を検討する中で若干の変更が生じる可能性があります。</p> <p>各スペースの面積は、次のとおりです。</p> <p>市長室 40 m²程度 副市長室 30 m²程度 応接室 40 m²程度</p>
--	--	---	--

		<p>29. 議会関係のスペースが広すぎる。</p> <p>① 議会関係の床面積はいくらか。</p> <p>② 議会と委員会は1年間でそれぞれ何日開催されるのか。</p> <p>③ 議会と委員会は、重複して開催されることがあるのか。なければ議場を兼用して使用すべきである。</p> <p>④ 傍聴ロビーからの眺望を唱っているが、傍聴席から富士山を眺望できることか。傍聴は、議会の状況を確認するところで眺望に行くのではない。(提案は、よくできたプランであったのに)</p> <p>⑤ 眺望は、議員控室(提案よりも広がっている)を縮小して市民のために造るべきである。</p> <p>⑥ 議場は、多目的に使用できるのか。</p> <p>30. 電気室が広すぎではないか。面積はいくらなのか。西側に眺望ロビーを造ったらどうか。</p>	<p>秘書室 100 m²程度 詳細につきましては、基本設計図書に記載しております。 なお、実施設計において詳細を検討する中で若干の変更が生じる可能性があります。</p> <p>議会関係の面積は、550 m²程度となっております。 詳細につきましては、基本設計図書に記載しております。 なお、実施設計において詳細を検討する中で若干の変更が生じる可能性があります。 平成26年度は、本会議と委員会あわせて44日間開催されました。 議会と委員会を、重複しての開催はございませんでした。 5階に眺望スペースを設置させていただきました。</p> <p>議場の多目的利用につきましては、市議会と協議を行いながら検討してまいります。 電気室につきましては、主に受変電設備を収納するための室として必要な面積を計上しております。 なお、実施設計において詳細を検討する中で若</p>
--	--	---	---

		<p>31. 直天井について</p> <p>① 上階床下、鉄骨梁、設備関係の配管、ダクト等は塗装しないのか。</p> <p>② 塗装するとしたら塗装の塗替え期間は何年なのか。</p> <p>③ 埃は積もらないか。自分の家のペンダント照明の上は年末の大掃除で結構溜まっているが</p> <p>④ 配管類の下は、メッシュ天井となるのか。</p> <p>⑤ 天井付と直天井のコスト比較はどうなのか。</p> <p>⑥ 空調の負荷は大きくなって、将来のランニングコストは大きくなるのか。</p> <p>32. 木造部分は、免震が有効に機能するのか。</p> <p>33. 1階駐車場は、柱・梁天井の仕上はどうなるのか。千万単位のコストが発生すると思うが。ベニバナウォークの駐車場だとコストもかからないが。</p>	<p>干の変更が生じる可能性があります。</p> <p>コスト面を考慮し、極力塗装しない計画としております。</p> <p>建設費が増加しない範囲でスリムな器具を設置する等、埃が溜まりにくい工夫を検討してまいります。</p> <p>エントランスホールや待合ロビー等、部分的に天井を設けますが、大部分は天井を貼らない計画としております。</p> <p>直天井とすることで、天井材分のコストの抑制になります。</p> <p>また、天井を貼らない分、階高を抑えることができるので、その分のコストの抑制にもつながります。</p> <p>天井を貼らない分、空調負荷は増えると考えられますが、直天井とすることで、天井付よりも階高を低く抑えており、一般的な階高で天井付の場合と大きな差はないと考えております。</p> <p>また、暖房時は上階の床を暖める効果が期待できます。</p> <p>2階の木造は免震構造部分となり、鉄骨造部分と同様に免震が有効に機能する計画としております。</p> <p>仕上げにつきましては、機能性と経済性のバランスを考慮しながら、実施設計において検討してまいります。</p>
--	--	--	--

	<p>34. 将来にわたって利用し、残る市庁舎である。市庁舎建設に携わった市のスタッフであり、設計事務所の実績でも代表する建物にしてもらいたい。</p>	<p>安全性や使いやすさに加え、コスト面にも十分配慮して事業を進めてまいります。</p>
10	<p>1. 市民説明会について 説明会で委託会社が出席したことについて少し疑問が残った。設計会社は「サポートチーム、設計チーム、チェックチーム」の3チームで事業を進行し、コスト管理もその一つに明記している。そのコスト管理とは市のコスト管理ではなく設計会社のコスト管理である。同じコストでも市と設計会社とでは懐の痛むところが違う。民間企業では利益が減れば懐が痛み、市は出費が増えれば懐が痛む。説明会会場で市民が事業予算の質問をした際に、市は36.5億円が上限であるとしながら、増える可能性があることも示唆していた。市のスタンスとしては、増やさないことがコスト管理であり、この徹底は大切であろう。設計会社の前で増えると言えば、いくらでも出しますと言うことになる。いい庁舎を作るためには業者と細かな打ち合わせが必要だから、綿密な連携は必要だろう。しかし、スタンスの違いは明確にし、懐まで合わせるべきではないと思う。</p> <p>2. 建設費用について 36.5億円は巨額なので実感がない。市税に換算して一人当たり13万3千円／年（平成25年度）とすると、0歳児から100幾つのお年寄りまで約27,400人分、市民の1/3人以上だ。我々の介護保険料が46億円（27年度当初予算）なので、もう10億足せば同じくなる。ため息が出るような金額だ。土地付き戸建を一棟3,600万円で買えば100棟分で、中規模の団地を買える。やはり、大金だ。 隣の北本市ではホームページに、平成10年度に総工事費約51億8千万円、本体工事費約41億6千万円の計画を、財政状況等から</p>	<p>【1, 2について】 パブリックコメント時の建設費 36.5億円は上限ではなく、平成27年2月時点での概算費用であり、その後の建設費の動向等によっては増額となる可能性もあるとご説明をさせていただきました。 引き続き、必要な機能を適正な費用で建設できるようコスト管理の徹底に努めてまいります。あわせて、活用可能な補助金の導入について比較・検討を行ってまいります。</p>

		<p>計画変更の検討し、床面積約9,300平方メートル、本体工事費を約25億円に減らした、と説明されている。建設は平成22年である。長年蓄えてきた基金も上手に使い、大幅な予算削減もした。北本が出来たのだから桶川も削減ができない筈はない。もっと減らしてほしい。</p> <p>それから高額備品等の購入についてだが、多額なので手間をかけてでも一般競争入札を増やし、談合、癒着など不正がないようにしっかり監査、監督してほしい。太陽光パネルについては、何かとお金をめぐる事件でニュースに出てくる。重要備品だと思う。</p> <p>3. カラーデザインについて</p> <p>資料（「桶川市新庁舎建設基本設計（案）市民説明会 平成27年4月4日・5日 桶川市」P20）に描かれている「桶川臙脂」を壁に塗り立てた部分は、大きすぎて品がない。臙脂は色が暗いので壁面の印象が暗くなり、色気や味わいもなくなる。大きく描くことで「桶川臙脂」を強調したいのではないかと想像するが、かえって効果が半減している。臙脂は唇に塗ればきれいだが、顔に塗れば気味が悪い。風呂敷、ふくさやネクタイに使えば品が出る。上手に使うのが、桶川臙脂なのだろう。</p> <p>また、使う臙脂はJIS定義の色ではなく、本物の職人の色を使って欲しい。あれでは、子供たちにペンキの色を「これが桶川臙脂なのである」と固定観念を植え付けるようなものだと思う。べにばなの色は、臙脂、黄、オレンジ、ピンク、明るい赤などいくらでも可能性がある。カラーユニバーサルデザインは、色覚の障害があってもハンディーにならないようにすることが目的。「桶川臙脂」を知ってもらうこととは別である。市内の美術家や市美術部職員、工芸家などでディスプレイの方法を研究して頂いてはどうか。臙脂の表示スペースは最大でも小風呂敷程度にして欲しい。</p>	<p>備品等の発注も含めて、業者選定にあたっては、公平性の確保に努めてまいります。</p> <p>ご意見のとおり、べに花染の色は多様であり、染料として出荷する際には紅餅に加工していたとのことで、それを再現したものが歴史民俗資料館に展示してあります。</p> <p>カラーデザインにおける「オケガワエンジ」は紅餅の色味をイメージしたものです。</p> <p>なお、塗装の仕様・範囲につきましては、効果的で品のあるものとなるよう、実施設計において検討してまいります。</p>
--	--	--	---

	<p>4. フロアーについて ワンフロアーは広く明るいイメージで良いと思う。職員も情報を共有しやすいし、我々もその恩恵を受けやすい。 ただ、資料をよく見ると、各フロアーはワンフロアーで情報共有しやすいが、上下のフロアーでは雰囲気や伝播の工夫が見られないように思われる。丁度、各フロアーが一つひとつの独立した市役所のように見える。デパートなら、商品を売るだけでよいが、市役所では、商品ではなく色んな所のサービスを提供するわけだから、あちこちの情報を共有し、迅速で情勢適応の対応が必要と思う。一体性を保ちながら、異業種交流を行うようなものである。フロアー間にもワンフロアー同様の工夫が必要で、吹きぬけや類似の開放的階段、エスカレーター等を中央に配置するなど物理的な工夫をした方が良くと思う。会議で言葉だけでは伝わらないし、そもそも速さで負ける。</p> <p>5. ピロティーフロアーについて 経費削減の関係で選んだと説明されたが、他の予算を削ってでも駐車場は地下か建物外にしてほしい。 図面では1階に35台、屋外に25台分あります。たった35台のために1階を駐車場にし、2階以上を執務室にするのはもったいない。2階以上を執務室にすれば、市民も職員も必ず2階以上に登る。市民はエレベーター、エスカレーターで余計な電気代を使い、職員は階段で朝から体力を消耗する。市役所の顔となる受付は孤立して、フロアーとの一体性を欠き、上の様子が分からないので、そのうち誰も出たがらなくなる。1年で単なる置物になる。図を一見して、車さま様になっていることに気付く。発想は、桶川市は人>車でなければならない。外観は大型家電店みたいで、丁度、上尾の某電気になる。観光スポットにもなるかと期待するが、若い人は集まるだ</p>	<p>フロア間に吹きぬけ等を設けることは難しいと考えております。 なお、ご意見のとおり、情報の迅速な共有は不可欠でございますので、各階の業務を円滑に行えるよう、風通しの良い職場づくりに努めてまいります。</p> <p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティーフロアーに変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。 また、引き続き、実施設計の中で創意工夫を行ってまいります。</p>
--	---	---

	<p>ろうか。見学に来る他市の職員は市の苦勞、工夫に気付いて、豊かな町だと思ってほしい。</p> <p>柱頭免震装置付きピロティー式建物であっても、視界を妨げないよう中央部分の柱をなくし、ワンフロアの執務室にすることはできないのだろうか。できないならば、やはり免振装置は地下に置いて、免震ビットをメンテナンス空間とするか、高さを上げて駐車場にするか、あるいはその他だ。敷地が狭いので車の出入り口も無駄なスペースになる。一方、4階になるので圧迫感も日陰も減る。屋上は緑化などせず、全面フラットにして太陽光パネルを増やせる。光熱費を節約し、土日祝祭日には売電にいそしむ。もっともっと工夫はないのか。40年以上は使うのだからまだまだ妥協しないでほしい。</p> <p>6. 設置する柱頭免震装置について</p> <p>今年、4月に地震調査研究推進本部地震調査委員会から、「深谷断層帯・綾瀬川断層の長期評価（一部改訂）」を発表した。幸い、この断層が動く確率は高くないようだが、身近に断層があることを知った。これが動いたら大変だろう。この免振装置は横揺れには強く、縦揺れには弱そう。市民には万能に見えるが、想定外の想定は具体的にあるのか。</p> <p>大阪市の通天閣は、上を持ち上げて柱を切って免震装置を取り付けた。桶川市の新庁舎の場合は、初めから取り付けるので、余計な経費はかけずにすむのでほっとする。ニュースでは4つの免震装置で通天閣を支えると聞いた。新庁舎の図面では、1階に柱が32本ある。全部に取り付けければ仮に1台500万円なら1億6千万円。運搬料、取り付け料等を含めればもっと高い。免震装置の定期検査も必要だろうから、設置後は毎年、専門業者による維持管理費が必要になる。費用と契約方法はどうなるのだろうか。</p>	<p>防災拠点施設として、地震発生直後も継続して建物を使用することができ、速やかに災害活動と市役所業務を行える庁舎とするため、建設費、維持管理費等を含めて検討を行ったうえで免震構造を採用いたしました。</p> <p>ご意見のとおり、免震装置は特に横揺れを減衰させるものです。</p> <p>なお、現行の法規における標準の構造体は、縦揺れ・横揺れの別に関わらず、大地震時に部分的な損傷は生じるものの倒壊等の大きな損傷は発生せず、人命の安全確保が図られるものとなっておりますが、新庁舎につきましては、人命の安全確保に加えて、構造体の補修をすることなく使用可能な防災拠点施設として十分な強度・耐震安全性を確保する計画としております。また、免震装置の定期点検につきましては、専</p>
--	---	--

		<p>7. 敷地について 説明会で隣接地の購入で1500平米増えたと聞いたが、きれいな長方形の敷地になっていない。どの資料を探しても敷地の東隅が白く欠けている。増えた敷地とはどこですか。これほどの大事業ですから、何故きれいな長方形にはならないのでしょうか。約370㎡で車両1台20㎡(4×5m)とすると約18台の駐車場分です。</p> <p>8. 駐車場について 図面では1階に35台、屋外に25台分ありますが、建物1階から執務室にして、地下駐車場を設けた場合、35台分を屋外に確保しなければなりません。 市民ギャラリー、ベにばなcafe、および2階の当該部分は、建物の中に入れて、木造の雰囲気や自然さはケヤキなど大型植栽とデザインでカバーし、日差しも取り込めた上、20台くらいは確保できそう。また、近くの中学校の駐車場や学校整備の補助を使って再整備で利用できないのか。尚、本当に必要な公用車台数、市民の代表となる議員、職員等の駐車場については何台必要なのかは精査、検討は前提です。</p>	<p>門業者による委託を想定しており、費用につきましては、年10万円程度と試算しております。購入した敷地は南側部分となります。東隅部分は購入していないため、敷地の形状が整形になっていないものです。</p> <p>駐車場台数の設定にあたっては、仮設庁舎移転以降の来庁者の駐車台数の調査結果や公用車台数を踏まえ、敷地内に60台、敷地外に90台程度を確保する計画としております。 なお、職員はこれらの駐車場の利用を制限してまいります。</p>
11		<p>1. 床面積の件 現庁舎延 5,037㎡ 新庁舎 8,360㎡ 現と新の具体的な比較がないと判断できませんので回示してほしい 例 執務室、議員控室等 現と新の比較</p>	<p>執務室の面積につきましては、執務体制の違い等により単純な比較はできませんが、仮設庁舎と分庁舎を合わせて1800㎡程度、新庁舎は2300㎡程度となっております。 詳細につきましては、基本設計図書に記載しております。 なお、実施設計において詳細を検討する中で若干の変更が生じる可能性があります。</p>

		<p>2. 25. 11. 10 新庁舎建設基本計画を策定 概算事業費のなかで解体費(外構工事費含まず)とありますが費用が発生しないと言う事か、また発生するのであればなぜ計上しないのか。</p>	<p>平成25年11月に策定した基本計画の概算事業費のうち「仮設庁舎建設・解体費(外構工事費含まず)」とありますのは、基本計画策定時には、昨年建設いたしました仮設庁舎の外構工事の仕様が不確定であったことから計上していなかったものです。</p>
12		<p>1階→地下 駐車スペース 2階→1階 窓口は2階以上になっており1階から2階へはエスカレーター、エレベーターで行くようになっている。2階には市民の大半が利用する部門が配置。高齢者はエスカレーターの利用が苦手。特に2階から1階への「下り」、これから高齢者が増える中、外からそのまま窓口いけるように将来を見据えた構造にすべきと考える。</p> <p>カフェ、ギャラリー不要(用事済んだら帰る 寄らない)</p> <p>3階→2階 情報コーナー(FM局含む) 情報が溢れる今の時代役所には不要 市民活動室 べにばなウォークの「市民活動サポートセンター」を活用すれば役所には不要</p>	<p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。</p> <p>市役所へのメインのアプローチとなる敷地東側の道路(市道1-3号)に面し開放ゾーンを配置することで、市道から市民利用の様子をうかがい知ることが可能となり、市民が気軽に立ち寄ることができる庁舎とする計画としております。</p> <p>情報コーナーにつきましては、市民への情報発信の場所として必要であると考えております。</p> <p>なお、運用につきましては、他の施設と市役所の使い方が重複しないように検討してまいります。</p>

		<p>4階→3階 会議室は無くし執務室スペースにする 天井は貼る 5階 ここの天井は貼らない 会議室をここの階に集約(可動間仕切型=いくらでもサイズ変更可) 職員の食堂利用(ここで職員が食事をとることにより職員の横のつながりができ風通しがよくなる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の来庁時間は1人当り10分もすれば足りる。 ・在庁時間の長い職員の住環境、働きやすい(他人を楽にする)ことに重点を置く。 ・「新しい酒は新しい皮袋に入れる」との諺がある。 <p>新庁舎が出来ても中に入る人が、従来の仕事の仕方、市民に対する対応の仕方、考え方を変えないといけない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎に移る前に窓口業務部門はデパート及び銀行等のサービス業で研修を受ける事を望む。 ・囲りの植栽はなくてもよい、殺風景なぐらいが丁度よい。出来た時はきれい、きれいだが2～3年もすると乱れる。せんてい、刈込、草むしり等メンテナンスに費用がかかる。 <p>市民のニーズに応えることが最大の「おもてなし」 新庁舎になったら職員が笑顔で市民を迎えてくれることを祈ります。</p>	<p>会議室を一つの階に集約することは、難しいと考えております。 なお、3階の会議室はサイズ変更が可能なように可動間仕切りを検討してまいります。 また、天井につきましては、原則天井材を貼らない直天井とする計画としております。</p> <p>市民の多目的な利用に配慮した新庁舎となるように検討してまいります。 職員の働きやすい新庁舎となるように検討してまいりますとともに、市民サービスの向上を図れるよう、職員の資質向上に努めてまいります。</p> <p>緑化の基準を踏まえ、適切な緑化面積を確保しながら、維持管理費用も考慮した樹木の選定を検討してまいります。 ご意見のとおり、おもてなし・お出迎えの心は重要であると考えております。</p>
13		<ul style="list-style-type: none"> ・ピロティ案は反対。 <p>プロポーザルで最優秀と評価された提案が活かされていない。</p>	<p>プロポーザル方式は、設計案を選ぶ「コンペ方式」ではなく、設計者から業務の実施方針や課題に対する考え方の提案を求め、想像性・技術</p>

		<p>9億円足りないから見直したなどという理由は、プロポの意味をそもそも失っている。</p> <p>41億円になってしまうような案で選ばれたものであれば、同じ条件で再度業者選定をやり直すべきである。</p> <p>説明会も延期し、計画はずれこんでしまって契約不履行。その責任も問われるが、市は明らかにしないまま、業者と継続して実施設計にはいることは、公共事業として許されないと考える。</p> <p>現計画は白紙にして、最初からやり直すべき。</p>	<p>力・経験等から「設計者」を選ぶ方式ですが、明快でわかりやすい川の字配置や多目的に活用可能な兼ねる駐車場、宿場町らしさが感じられる開放ゾーン等、提案に沿った基本設計であると考えております。</p> <p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。</p> <p>建設費を中心に設計内容の見直しを行うため、双方協議のうえ履行期間を延長しております。</p> <p>引き続き、実施設計に着手し、当初の計画どおり平成30年5月の開庁に向けて取り組んでまいります。</p>
14		<p>1. ピロティ型駐車場いわゆる「下駄ばき建物」には反対である。</p> <p>①高齢者に冷たい、暗い雰囲気と圧迫感がある建物である。</p> <p>②新庁舎設計の考え方の中で、1. 立地特性・周辺環境等に配慮した庁舎、5. 市民が利用しやすく、時代の変化に柔軟に対応可能な庁舎とあり、5では、分かりやすい平面構成、迷わない空間構成と、入りやすい雰囲気、安全な設えを備えた使いやすい庁舎をつくる。市民の交流の場をやさしく包み込み、市民がふれあう空間をつくる、</p>	<p>【①～③について】</p> <p>建物の外観や雰囲気につきましては、特に市役所へのメインのアプローチとなる敷地東側の道路（市道1-3号線）に面する開放ゾーンは、低層にすることで圧迫感を抑え、ガラス等により内部の雰囲気が感じられる計画としておりま</p>

	<p>と例に挙げているが、実態は逆である。</p> <p>③まず、外観から見た場合、市役所の建物内部が見えず、市民に冷たい雰囲気がある。</p> <p>④エスカレーターでの2階へのラインは、2段階のステップであると同時に、1階の案内では執務環境が見えずに来庁者に不安が残る。案内係に地図を見せられても、市民は目的のフロアに行き過ぎてさらに迷うか、聞くことになる可能性もあり、各フロアに案内を置く必要性も出てくる。</p> <p>⑤高齢者や障がい者にとってエスカレーターは、一歩踏み出すのに躊躇があり、時には危険も伴う。エレベーターを設置した場合、そのメンテナンスにコストがかかる。1階から利用出来る市役所は、利便性や安心感があり、親しみやすさにも雲底の差がある。</p> <p>⑥市の担当者は甲府市役所を例に挙げて、「職員や利用している市民の方々にヒアリングしたところ、好評を得ていることが分かった。」と答えているが、桶川と甲府市をどのように比較したら、そのような回答になるのか、理解に苦しむところである。新築1年目の新しい市役所について、以前より利便性が増すのは当たり前であり、それをもって桶川に採用出来ると考えるとしたら、お粗末な発想である。</p> <p>⑦甲府市役所は、県庁所在地で甲府駅から歩いて6分、隣接地に山梨県庁、甲府警察署、甲府地方裁判所などがあり、甲府市街のメインストリートに面しており、土地の高度利用も行われている、山梨県の中で最もにぎやかな場所にあり、10階建てであり、比較も参考も困難である。</p>	<p>す。</p> <p>また、1階の空間は、免震装置の位置を工夫し、柱の寸法を2m四方程度から1m四方程度とすることにより、圧迫感の低減を図ります。</p> <p>【④・⑤について】</p> <p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。</p> <p>【⑥～⑧について】</p> <p>甲府市庁舎につきましては、1階がピロティ駐車場およびエントランス、2階以上が窓口となっている庁舎の例として挙げさせていただきました。</p> <p>庁舎の規模は異なりますが、2階窓口への動線、1階および2階での案内方法等の考え方については参考になるものと考えております。</p> <p>なお、2階が窓口であることについての市民からの反応を伺ったところ、不便である旨の意見はないとのことでした。</p> <p>基本設計では、コンビニエンスストアの計画は</p>
--	---	--

		<p>⑧さらに、1階は民間ビルのようにコンビニや休憩スペースを広範囲に取っており、1階そのものが、庁舎とは別の機能を持っている。</p> <p>⑨それでも屋根付き駐車場・ピロティ部分はかなりの圧迫感があり、昼でも照明が必要であり、市民が気軽に立ち寄れる場所とはなっていない。</p> <p>⑩案内フロアも2人から3人が対応しており、人件費も考慮すると、コスト削減の考えに反している。</p> <p>⑪「ピロティ駐車場とすることで、災害時の物資保管やイベント等、駐車場を多目的に活用することが可能です。」と災害対策も説明されているが、これも1階から庁舎スペースを広く取り、避難者受け入れのスペースを確保することもできる。</p> <p>⑫又、地下を100台収容の広いスペースとして災害用に、今の案よ</p>	<p>ありませんが、市民の憩いの場として、1階には市民ギャラリーやカフェスペースを配置しております。</p> <p>⑨市役所へのメインのアプローチとなる敷地東側の道路（市道1-3号線）に面する開放ゾーンは、低層にすることで圧迫感を抑え、ガラス等により内部の雰囲気を感じられる計画としております。</p> <p>また、1階の空間は、免震装置の位置を工夫し、柱の寸法を2m四方程度から1m四方程度とすることにより、圧迫感の低減を図ります。</p> <p>ピロティ駐車場からの動線も含めて、明るく入りやすい空間となるように実施設計においても検討してまいります。</p> <p>⑩案内フロアの対応人数は未定ですが、1階につきましては、いずれの出入口からも、総合案内、エレベーター、エスカレーターに円滑に移動できるようなサイン計画を検討してまいります。</p> <p>また、2階以上はエレベーターホールから窓口を見渡すことができる明快で迷いにくい計画としております。</p> <p>【⑪～⑬について】</p> <p>限られた敷地において、必要な駐車場の確保、防災拠点施設としての安全性に配慮するとともに、建設費を考慮する中で、地下駐車場から平面で駐車できるピロティ駐車場に変更し、2階</p>
--	--	--	---

		<p>りもより広く活用することも十分可能なので、ピロティ駐車場とするメリットは特段ないとする。</p> <p>⑬市の説明では、地下に駐車しても上に上がるので、代わりはないとしているが、弱者に配慮しない発想である。バスや徒歩利用者にとっては、まず平場の1階から入り、受付で目的の場所を聞いて移動する。これに対し、下駄履き構造では、まず入口を探し、受付で場所を聞き、それからエスカレーターに登って、さらに場所を探し、移動して用事を足すことになる。大きな違いがあるのは誰でも明らかである。</p> <p>⑭まずは、遠くからも市役所が分かり、近づいても安心して入口が分かることを第一に考えるべきであり、景観、外観に配慮していない。県道からのイメージを重要視しているが、ギャラリーと喫茶室の外観のみで、庁舎のイメージが見えてこない。プロポーザルの際の提案とはかけ離れた案である。</p> <p>⑮さらに、市民が長い間待ち臨んだ市役所は、市民が気軽に立ち寄れる開放感と安心感を与えるものであるべきで、カフェやギャラリーを切り離すのは、両者を分断し使い勝手を悪くしている。市役所に用事がある人が、ギャラリーや喫茶室にわざわざ立ち寄る割合は少ないはずである。</p> <p>⑯設計変更により、旅籠の面影を残す工夫と考えられるが、これらは一体型で、市役所に来庁した市民が、立ち寄ったことで、文化に触れることが出来るというきっかけづくりを手伝うものでなければ</p>	<p>を窓口とする基本設計といたしました。</p> <p>2階へはエレベーター・階段・エスカレーターといった多様な移動手段を確保いたしました。</p> <p>さらに、1階には総合案内を、2階にはコンシェルジュを配置し、適切な案内ができるように配慮してまいります。</p> <p>⑭市役所へのメインのアプローチとなる敷地東側の道路（市道1-3号線）に面する開放ゾーンは、低層にすることで圧迫感を抑え、ガラス等により内部の雰囲気が感じられる計画としております。</p> <p>明快でわかりやすい川の字配置や多目的に活用可能な兼ねる駐車場、宿場町らしさが感じられる開放ゾーン等、提案に沿った基本設計であると考えております。</p> <p>⑮市役所へのメインのアプローチとなる敷地東側の道路（市道1-3号）に面し開放ゾーンを配置することで、市道から市民利用の様子をうかがい知ることが可能となり、市民が気軽に立ち寄ることができる庁舎とする計画としております。</p> <p>⑯限られた新庁舎のスペースの中で、他の施設と使い方が重複しないように検討してまいります。</p>
--	--	---	--

		<p>ならず、市民ホールと同じ使い方では、どちらかの利用が減少するだけである。</p> <p>⑰不動産の価値では、通常1階は、2階と比較して1.2倍以上、その1階を車のために専用し、使えなくするのは、市民に貴重な財産がコストを理由に失われるのは愚かなことである。市は市民サービスをより良質に提供することを考えるべきであり、公共の福祉は、多面的に検討去らなければならない。よって、1階を市役所ロビーと市民サービスの提供の場とする設計案を再度検討し、市民にはかるべきである。一度作った建物は50年は壊せない。高齢者・障がい者に優しい設計とすべきことを再度付け加える。</p> <p>2. 建物の高さについて</p> <p>4階から5階にあがったことにより、周辺の住宅地の日照に少なからぬ影響があり、高さ制限がないからといって、日照は金銭では変えられない。多少のコスト高であれば、駐車場を地下にするとともに階層を下げるべきである。</p> <p>3. コスト面について、市の取り組みに不信感が残る。</p> <p>①今回の32億円のプロポーザル案について、市は最初からコストアップ36億円で募集したと説明があったが、これは市民をだます行為である。募集段階から予算額が上がったという行政は聞いたことがない。</p> <p>②このことは、選定委員会に報告されていないのではないかと、もしきちんと報告されていたら、コストについての質疑はもっと多く出ていたはずである。</p>	<p>⑰敷地特性を踏まえた建築計画、防災拠点施設としての役割、建設費の削減等、様々な観点から検討を行い、基本設計としましたが、引き続き、より良い新庁舎となるように努めてまいります。</p> <p>南側及び西側の住宅地との隣地境界からの距離は5m程度確保するとともに、直天井の採用により建物全体の高さにも配慮しております。</p> <p>【①・②について】</p> <p>プロポーザルに参加した設計者に対しては、「概算工事費は建設費高騰・消費税増税前の試算であり、基本設計においては、それらを考慮して改めて概算工事費を積算する。」と回答しております。</p> <p>なお、回答につきましては、発注者である市の考え方を回答書としてまとめたものでございますが、参考として選定審査委員会においてご報</p>
--	--	---	---

		<p>③又、コストの考え方に市と業者との間に乖離があったとの説明がされているが、当初から擦り合わせが行われなかったのは不可解であり、最初の会議ですぐに判明したはずである。どちらの責任に属することなのかも含め、市民に詳しい説明をすべきである。</p> <p>④又今回の資料の中に、借り入れ可能額が出ているが、これに対し返済計画が全く出されないばかりか、答えられないということは、「出来るだけ市民に負担をかけないで」との回答は空約束にすぎないことを表している。もう少し民間に匹敵するくらいに緻密に建築コストと返済計画を提示すべきである。</p> <p>⑤今後実際の一般競争入札に際しては、設計業者や業者の関与を排除し、公正に業者を選定し契約がされるよう、そのための対策を公表していただきたい。</p> <p>⑥甲府市の建設コストはおおよそ90億円と聞いているが、延べ床面積からからしても28億円程度である。昨年3月の竣工からコスト上昇を2割考慮しても32億円。設計内容からはもう少し安価な仕様となっており、36.5億円は割高である。詳しいコストを公表すべきである。</p> <p>4. エネルギー対策について</p> <p>①甲府市役所では、庇がソーラーパネルになっている工夫があった。今後の経費と初期投資の比較をして、導入の是非を判断していただきたい。</p> <p>②又、地下水を利用したエネルギー利用は、その成果を広く市民に公表し普及するモデルとなるよう、取り組んで欲しい。</p>	<p>告させていただいたところです。</p> <p>③基本設計においては、建設費高騰・消費税増税等を考慮して改めて概算工事費を積算することとしております。このため、コスト面につきましては、当初から詳細な調整が不足しておりました。その後の経過は説明会で報告したとおりです。</p> <p>④具体的な返済計画につきましては、建設費を含めた新庁舎建設事業の総事業費と庁舎建設基金を踏まえ、地方債の額について検討・調整を行う中で決定してまいります。</p> <p>⑤業者の選定にあたっては、公平性の確保に努めてまいります。</p> <p>⑥必要な機能を適正な費用で建設できるようコスト管理の徹底に努めてまいります。</p> <p>環境配慮技術の採用にあたっては、初期費用、維持管理費用、環境負荷低減の効果等を比較・検討したうえで決定してまいります。また、導入効果を公表しモデルとなる環境にやさしい新庁舎となるように努めてまいります。</p>
--	--	--	--

		<p>5. 各フロアの機能について</p> <p>①情報公開室は、ほとんどの自治体で1階にある。桶川市が4階に設置するのは、情報公開に後ろ向きの姿勢である。条例前文「市が保有する情報は、広く市民に公開され、適正に活用されることにより、市民生活の向上と豊かな地域社会の形成に役立てられるべきものである。このことはまた、市政の諸活動を市民に説明する市の責務を十分に果たす上で不可欠である。また、この情報の公開は、市政に対する理解と信頼をより深めるとともに、市民参加を促進し、もって開かれた公正な市政の推進に資するものと確信する。」とあることを忘れていないのか。</p> <p>②広く市民の参画を促し、市民が必要な時にデータや資料が見られる情報公開コーナーと公文書公開センターを市民が最も利便性の良い1階に設置すべきである。</p> <p>③又、議会のモニター視聴が可能な場所を1階に設置すべきである。市民FM局を市役所に持ってくる必要はなく、そのエリアを情報コーナーとして使うべきである。</p> <p>④むしろFM局は官から離れた民間の活動を活発に出来る場所、空き店舗の活用などに当てるべきである。</p> <p>⑤議会のフロアに議会図書館がないのが不可解である。法的に位置づけられている物は、新庁舎に際してはきちんと設置すべきである。甲府市役所には立派な設置されている。</p> <p>⑥市民活動センターは、民間の量販店に置くべきではなく、ギャラリーと隣接した場所設置すべきである。</p> <p>6. 今後の取り組みについて</p>	<p>【①・②について】</p> <p>情報公開室につきましては、業務の効率を考慮して所管課に近接して配置しております。なお、2階に情報コーナーを設け、市政について積極的に情報提供を行ってまいります。</p> <p>③議会のモニター視聴につきましては、市議会と協議を行いながら検討してまいります。</p> <p>④新庁舎においては、情報コーナーの一角にFM局を設けることができるような計画としております。</p> <p>⑤議会図書室を議会フロアに設ける計画としております。</p> <p>⑥新庁舎においても、市民活動室を配置いたしました。</p> <p>パブリックコメントにつきましては、14名の</p>
--	--	---	--

	<p>まずは不信感を払拭する取り組みをすべきである。</p> <p>これまでの経緯の中に、前回の設計解除となった損害賠償金の経緯もきちんと公表すべきである。反省を踏まえてとの市長の議会答弁はリップサービスで実態が伴わず、それが不信感を招いていることを忘れていただきたい。</p> <p>このことは、市民説明会に31人しか来なかったことでも、このパブリックコメントが少ないことでもはっきりしていると考えべきである。</p> <p>長く使う市役所であり、市民から批判を浴びることの無いよう、慎重な対応を望む。</p>	<p>市民の方から数多くのご意見をいただいております。</p> <p>また、市議会、ワークショップ、職員からの意見も踏まえ、一部修正を行ったうえで基本設計とさせていただきます。</p> <p>引き続き、実施設計においても可能な修正に努め、コスト面に配慮しながら、安全で使いやすい新庁舎が建設できるよう対応してまいります。</p>
--	--	--